

女も男も 自分らしく

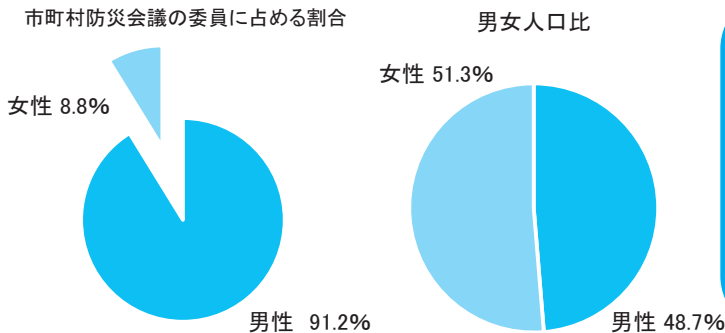


輝け! なんぶ!

No. 28

地域の防災と男女共同参画

【防災に関する意思決定の場は男性が中心?】



日本は人口比で見るとわずかながら女性が多くなっています。にもかかわらず、防災会議の委員に占める割合など、防災の意思決定に関わる場では圧倒的に女性の割合が少なくなっています。

左に示したグラフからも読み取れるように、2020年時点で市町村防災会議の委員では女性の割合は8.8%に留まっています。

【防災の現場においては女性の視点も不可欠?】

なぜ女性の視点が必要となってくるのか

災害時、避難所での長期の共同生活が必要となることがあります。その際、避難所には地域の多様な人が集まっています。それぞれが必要とするものや抱える問題は異なり、避難所を運営していくにあたっては多様な視点が求められます。女性の持つ視点や考え方はその際に大いに有用なものとなり、円滑な運営のために不可欠なものとなります。

同様に、防災組織の中でも女性の持つ視点は組織の方針決定や活動の中で必要とされています。男性が中心となつての防災組織では対応しきれない問題について、女性が参画することで適切な対応が可能となると考えられます。

【方針決定の場に女性の参画を!】

・組織のリーダーには男女双方の力を

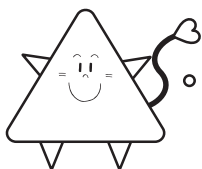
多様な状況に対応するためには男女双方の力が必要になります。

・組織内の班等の編成に際しても男女双方の配置を

「女性だから」「男性だから」といった固定概念にとらわれ役割を固定してしまうのではなく、あらゆる役割について男女双方の配置をすることでより効率的運営を目指しましょう。

・女性に限らず多様な人々の意見の反映を

災害時には男女という括り以外にもたくさんの人々が影響を受けます。多くの問題に対応するために女性だけでなく、より多くの人々が参加しやすい防災訓練を実施しましょう。



さんかくーん

これからの防災において女性の参画は必要不可欠!
男女問わず意識していきたいね!



※南部町男女共同参画審議会事務局

お問合せ: ☎66-3401

E-mail: soumu@town.nanbu.yamanashi.jp

～南部町男女共同参画審議会～